市報
にいがた
平成9年
9月28日
第1596号
発行日 毎週日曜日　発行 新潟市　〒951 学校町通1-602-1　編集 総務部広報課　印刷 ㈱第一印刷所

市の人口 （8月末現在）

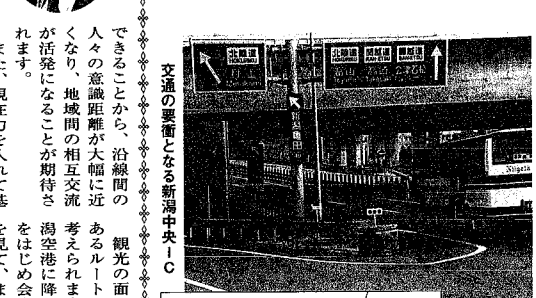
人口	486,803人	（+386）
男	236,482人	（+145）
女	250,321人	（+241）
世帯数	181,221	（+181）

住民基本台帳による。（）は前月比

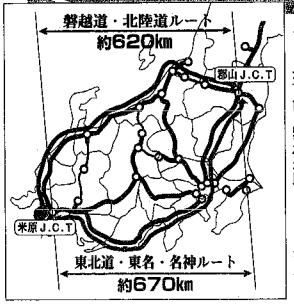
10月1日 磐越道全線開通　11月13日 新潟空港ＩＣ完成

拡がる高速交通ネットワーク

本市の高速交通ネットワークの東北への動脈として注目される磐越自動車道の新潟―いわき間が十月一日に全線開通します。総延長距離は二百十三㌔で、新潟からいわきまでの走行時間は三時間となり、これまでより二時間半短縮。また、東北自動車道―磐越自動車道―北陸自動車道を利用することにより、東北方面から関西方面への最短ルートともなります。さらに、十一月十三日には北陸自動車道の起点となる新潟空港インターチェンジ（ＩＣ）が完成。新潟空港への利便性が高まるとともに、将来青森まで延びる予定の日本海沿岸東北自動車道（日沿道）の起点ともなることから、今後は空港と港湾を抱える本市の拠点性が一層高まるものと期待されます。



交通の要衝となる新潟中央ＩＣ



磐越自動車道の開通により、陸自動車道を経由したルートが最短距離となることから、東北からの物流ルートとしての利用が高まることが予想されます。

観光面では、新潟空港から新潟に入り、福島の磐梯山、会津若松などを巡り福島空港から戻るなど、回遊性のある観光ルートが可能になるなど、期待されます。

また、防災面で見ると、新潟と福島を結んでいる国道49号は、落石や連続降雨などのため、これまで年平均四回程度は通行止めとなっていたことから、大災害時の救援などに支障をきたす恐れがありました。しかし、磐越自動車道の開通により、安定した高速道路を緊急道路としても活用できるようになります。

高速交通網の拠点に

北陸自動車道の起点である新潟空港ＩＣは、将来青森まで延びる予定の日沿道の起点も兼ねています。この日沿道は中条までの二十七・五㌔の区間の工事が昨年八月に始められたほか、中条―神林間も整備計画区間となっています。

今後は、日沿道の延伸により、県北と本市が安定した路線で結ばれるほか、上越地方では十月十六日に上信越自動車道の信州中野―中郷間が開通し、長野との時間距離が上越地方だけでなく、本市とも短縮されます。

北陸道、磐越道、日沿道など、本市をめぐる高速交通ネットワークが整備されていくことにより、地域拠点空港と中核国際港湾、新潟空港を利用してもらうための誘客活動や、新潟港の利用促進のための集荷活動、全国からの観光客誘致などに積極的に取り組んでいくことになります。

磐越自動車道は日本で初めて太平洋と日本海を一直線につなぎ、また大都市圏を通らず地方と地方を結ぶ、まさに「地方の時代」にふさわしい画期的な高速道路です。

磐越自動車道の開通により、冬季間の交通が途絶されることなく安定して確保できることから、沿線間の人々の意識距離が大幅に近くなり、地域間の相互交流が活発になることが期待されます。

また、現在力を入れて基盤整備を進めている新潟空港、新潟港を利用していただく範囲が広がり、一層経済交流が進むことが期待されます。

拠点性を生かしたまちづくり

新潟市長　長谷川義明

観光の面では、回遊性のあるルートが広がることが考えられます。例えば、新潟空港に降りた人に、新潟相乗効果を生み出すことが大切だと思います。

物流の面でも、東北地方をはじめ会津若松や磐梯山と関西地方を結ぶ道として、また、その地域独特の文化に触れて頂いてほかの空港から帰って頂くということが可能になります。有利になることから、本市が関西と東北を結ぶ拠点地域にあるということを生かした物流のあり方などを検討していきたいと思います。

来年の全国都市緑化フェアや二〇〇二年のワールドカップサッカーなど、新潟には大きな催し物が控えています。高速道路や航空路、新幹線などの高速交通網を最大限に生かし、新潟により多くの人に来ていただき、また新潟の文化を世界にアピールしていくきっかけにしたいと思います。

名神・東名・東北道経由よりも、北陸・磐越道経由の方が時間的にも経済的にも特に国際的な観光客にはこのようなケースが多くなると考えられます。沿線市町村が共同で魅力を開発し、

(財)新潟水道サービス 職員（大卒以外）募集

試験日 十月二十六日
試験会場 市職員研修所（市水道局内）
職種 土木関係
受験資格 昭和五十年四月二日から昭和五十五年四月一日までに生まれた人。ただし、大学（短大を除く）を卒業、または平成十年三月三十一日までに卒業見込みの人を除く
試験内容（一次） 筆記試験（教養、専門）と適性検査
申込期間 十月六日までの午前八時半～午後五時十五分（土・日曜日は除く）
※郵送の場合は十月六日消印有効
試験案内・申込用紙 (財)新潟水道サービス（関屋下川原町一―三―三市水道局分庁舎一階）で差し上げます。郵送を希望する人は、返信用封筒（あて先を明記して八十円切手を張る）を同封し、請求する封筒に「案内書請求」と明記してください。
問い合わせ (財)新潟水道サービス事務局（☎266-9311）へ

磐越自動車道を特集

本紙2・3面に磐越自動車道を、4面に北陸自動車道の特集を掲載しています。

この道一筋 (103)

笛吹き　若槻良平さん（72歳、太平3）

小学4年生の時、学校の先輩に勧められたのがきっかけ。時には一人で12曲も演奏する。「体力が落ちた」といいながらも笛の音色に衰えを感じさせない。

耳で覚えた伝承の音色

神社の祭りでよく見られる〝太々神楽〟に欠かせない横笛は、踊り手の引き立て役としてなくてはならないものの一つ。その横笛の伝統を六十年以上も守り続けているのが、若槻さんです。

笛は十本のうち九本が自作のもので、釣りざおからできたものがほとんど。今でもよく使うのはやっぱり自作の物で「愛着がある」とくるみの実で磨きながら笛を見つめます。

竹は細過ぎず、太過ぎず、節の長いものが良く〝殿様竹〟という竹が最適だそうです。数年前、笛に合う竹がなかなか見つからないため、殿様竹を一本だけ植栽。「もう枯れてしまった」と残念そうに話します。

若槻さんのところへ笛を習いに来る人は絶えませんが、あきらめる人も多く、後継者はいません。時には、譜面がないと訪ねる人もいるらしく「譜面なんかないよ。大事なのは耳で覚えること」と目を輝かせます。

河渡や松崎、寺山、山木戸など、数々の神社で行われる祭りに引っ張りだこの若槻さん。地域でも評判の腕前です。

市役所☎228-1000（代表）

園芸センター	286-1034
水道局	266-9311
市民病院	241-5151
東保健所	243-5311
石山地区保健センター	286-4450
南地域保健福祉センター	285-2373
北地区保健センター	259-7332
西保健所	266-5171
西地区保健センター	262-3405
坂井輪地区保健センター	260-3255
急患診療（市医師会・県歯科医師会）	
急患診療センター	228-2822
休日歯科診療センター	283-3030

電話案内

市ホームページのアドレス　http://www.mediagalaxy.co.jp/niigatacity

鳥屋野総合体育館屋内プール 一般利用中止のお知らせ

10月5日は大会のため一般の利用を中止します。
問い合わせ 同館（☎241-4600）へ

市オリジナル年賀はがき 10月1日から予約開始

市では10月1日から「市オリジナル年賀はがき」100万枚（1枚50円）の予約を市内の郵便局で開始します。なお、はがきの発行枚数は200万枚で、11月5日から発売します。
問い合わせ 観光物産課（☎内線2512番）、新潟中央郵便局郵便サービスセンター（☎241-6689）へ

金利が下がります

勤労者等住宅建設資金の金利が10月から現在の3.1%から3.0%に下がります。
問い合わせ 勤労福祉課（☎内線2532番）へ

不動産の無料相談会

日時 十月二日午後一時～四時
会場 市役所第二分館一〇二会議室
内容 不動産鑑定士による土地の価格・地代・利用などの相談
問い合わせ 都市開発課（☎内線2879番）へ